

平成17年9月7日

北陸研究センターGMイネ屋外実験差し止め訴訟原告団 御中

農業・生物系特定産業技術研究機構  
中央農業総合研究センター  
北陸研究センター

拝啓 初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

当研究センターで現在実施中の遺伝子組換えイネの隔離圃場における栽培実験につきましては、これまでも、説明会、中央農業総合研究センターニュース、ホームページ等を通じて消費者、生産者にご理解を得るよう情報公開に努めてきております。今後とも、実験の過程については、ホームページ等を通じて情報公開致して参りたいと存じますので、よろしく願いいたします。

さて、先般貴会よりいただきました質問に対して下記の通りご回答させていただきます。

敬具

## 記

1. 隔離圃場における実験の様子は適宜、写真を含めて当センターのインターネット・ホームページで公開済み。なお、9月5日にはイネの開花終了を確認したので、パラフィンの袋を除去した。  
URL: <http://narc.naro.affrc.go.jp/inada/def-rice/keii0830.htm>
2. ディフェンシンの耐性菌の発生については、今回の実験の目的でなく、調査する予定はない。
3. 実験データについては、整理、分析し、学術論文としてとりまとめの上、来年4月の学会において発表後、公開の予定としている。
4. ご本人から、栽培しているイネは組換え体ではないことは理解している旨の回答をいただいている。要すれば、ご本人の単なる勘違いである。